

公益財団法人あいちコミュニティ財団
2021 年度事業報告書

【1】当年度の概要

前年度に引き続き、コロナ禍も先が見えない状況ではありましたが、この状況下で出来ることを検討し、少しずつ活動を再始動した1年でした。

当年度の公益目的事業に関する寄付金総額は 37,807 円で、賛助会費としての受け取り会費 176,000 円でした。

冠プログラム「とよしまつもと基金」事業として「あいち子どもの暮らしサポート助成金」を実施し、3 団体への助成を実施しました。

また、市民公益活動を行う団体への情報提供として「遺贈を考える学習会」を開催し、多くの団体の参加があり、新たな繋がりをつくる事が出来ました。

当年度に実施することが出来た事業の結果は次の通りです。

【2】組織運営に関する事項

1 概要

当年度も、社会福祉法人むそうと出向契約を結び、企画・運営・経理についてそれぞれ1名ずつの人材を確保し、事務局を運営いたしました。

また、理事および監事については、理事 5 名・監事 2 名が再任をし、評議員についても 11 名のうち、6 名が再任、2 名が辞任し、評議員 9 名による新体制が発足しました。

2 評議員会の開催状況

評議員総数：5 月 20 日まで 11 名、5 月 21 日から 3 月 31 日まで 9 名

| 開催日 | 出席 | 審議事項 | 報告事項 |
|----------|-----------------------------|---|------------------|
| 5 月 21 日 | 評議員 6 名 理事 4 名 監事 1 名 | ・評議員の選任 ・理事、監事の選任 ・2020 年事業報告及び決算 | ・2021 年度事業計画及び予算 |

3 理事会の開催状況

理事総数：4 月 1 日から 5 名。

監事総数：4 月 1 日から 2 名。

| 開催日 | 出席 | 審議事項 | 報告事項 |
|----------|------------------|--|---------------------------------|
| 5 月 15 日 | みなし決議 | ・2020 年度事業報告 ・2020 年度決算 | |
| 6 月 1 日 | みなし決議 | ・代表理事及び常務理事の選任 | |
| 8 月 24 日 | 理事 5 名 監事 1 名 | ・2020 年度決算の修正 ・2021 年度補正予算 ・全国レガシーギフト協会再加盟について | |
| 9 月 14 日 | 理事 5 名 監事 2 名 | ・遺贈寄付学習の実施について ・とよしまつもと基金の実施方法 | |
| 10 月 5 日 | 理事 5 名 監事 2 名 | ・とよしまつもと基金の実施方法 | ・愛知県立入検査状況 ・遺贈を考える学習会の進捗について |
| 3 月 24 日 | みなし決議 | ・2022 年度事業計画 | |

| | | | |
|--|--|---------------|--|
| | | ・ 2022 年度収支予算 | |
|--|--|---------------|--|

【3】事業に関する事項

前年度に引き続き、市民公益活動団体等の組織基盤を強化し、安心できる地域の未来を創造することを目的として、以下の事業を行いました。

1 公益目的事業

(1) 市民公益活動を行う団体等に仲介・提供するために、必要な資金等の資源を募り、確保する事業

ア 「事業」への寄付募集

市民公益活動団体からの事業計画を公開し、賛同者を募る事業ですが、本年度は実施しませんでした。

イ 「テーマ」への寄付募集（寄付総額 37,807 円）

「あいち・なごや・つながる基金」の賛同者を募り、寄付の受入れを行いました

ウ 「賛助会員」の募集（受取会費総額 176,000 円）

昨年度に引き続き、当財団の目的に賛同し、事業運営にご協力いただく「賛助会員」を募集しました。本年度の賛助会員数は 13 名でした。

エ 法人運営への寄付募集

上記の寄付及び賛助会員の募集のほかにも、当財団の運営へご協力くださる方の寄付を受け入れています。今年度の寄付はありませんでした。

(2) 市民公益活動を行う団体等に対し、助成等を行う事業

ア 「あいち・なごや・つながる基金」等での団体への助成

寄付を募り、地域の社会課題の解決に取り組む NPO・NGO を支援する事業ですが、本年度は助成を実施しませんでした。

イ 冠プログラム「カムリ」

企業等の寄付による基金を設置する事業ですが、「あいち子どもの暮らしサポート助成金」とし実施しました。6 団体より申請があり、以下の 3 団体への助成をしました。

また、二次募集として、令和 4 年度に 50 万円の助成を実施する予定です。

①団体名：特定非営利活動法人ひだまりの丘

事業内容：若年女性孤立予防支援事業

助成金額：970,000 円

②団体名：特定非営利活動法人トレジャーシップ

事業内容：わやくちやサミット

助成金額：1,000,000 円

③団体名：特定非営利活動おさんぼや

事業内容：つながろう！みんなで子育て 第三の居場所づくり

助成金額：1,000,000 円

(3) 市民公益活動を支援するために、不動産等の資源を活用する事業

「特定寄付信託」等の開発・販売と「遺贈寄付相談センター」の運営ですが、本年度は実施しませんでした。

(4) 前各号に掲げるもののほか、市民公益活動を行う団体等に対し、その経営に必要な資源を提供する事業

ア 「セミナー」「ワークショップ」等の開催

市民公益活動を行う団体等の経営に資する情報・ノウハウ等を提供するため、参加者を公募してセミナー、ワークショップ等を開催するものですが、本年度は zoom にて遺贈寄付に関してのセミナーを以下の内容で開催しました。全国レガシーギフト協会にも後援いただき、全 5 回のプログラムで実施し、計 31 団体の参加がありました。

〈遺贈を考える学習会〉

- 第1回 日本社会の変化と求められる支援（2021年11月1日）
講師：日本福祉大学教授 藤森克彦
- 第2回 死後事務、成年後見制度の現状について（2021年11月26日）
講師：名古屋市社会福祉協議会 野川すみれ
NPO 法人知多地域成年後見センター理事長 今井友乃
- 第3回 遺贈の仕組み、必要な手続きについて（2021年12月9日）
講師：全国レガシーギフト協会 山北洋二
名古屋第一法律事務所 川口創
鳥居翼税理士事務所 鳥居翼
- 第4回 死後支援について（2022年1月14日）
講師：株式会社イノベティブ・デザインキュー 山元梢
- 第5回 愛知県で求められる遺贈の仕組みについて（2022年2月8日）
講師：企業支援ネット 鈴木直也

イ 企業との連携

企業と連携して市民公益活動団体等を支援する事業は、本年度は実施しませんでした。

(5) 市民公益活動を行う団体等及び資源提供者に対するコンサルティング事業

ア 市民公益活動団体への資金調達に関するコンサルティング事業は、実施しませんでした。

イ 他団体との連携

下記団体に、再審査の上、承認頂き、再加盟をいたしました。

- ・一般社団法人 全国レガシーギフト協会
- ・一般社団法人 全国コミュニティ財団協会

(6) 市民公益活動に係る調査研究、情報収集及び情報発信に関する事業

「年次報告書」等は、発行しませんでした。

(7) 市民公益活動を推進するための普及・啓発物品、寄附金付物品及び出版物等の販売

市民公益活動を推進するための情報等の普及・啓発を図るべく、物品・出版物等の販売を行なうものですが、本年度の販売はありませんでした。

(8) 前各号に掲げる事業のほか、社会を構成する多様な主体が市民公益活動を支え、担う仕組みの検討及び実施に係る事業

助成事業に関する報告会等は、開催しませんでした。

(9) その他、前条の目的を達成するために必要な事業

ア ヒアリング・取材対応

市民活動総合情報誌「ウォロ」の取材を受け、2022年2・3月号に掲載されました。

イ 寄付者の情報管理データベースの構築活用研究事業

寄付や等の情報管理のためのデータベースの構築活用に関する研究は行いませんでした。

ウ 講師派遣事業

当団体の職員、役員または関係者を各種団体等へ講師として派遣する事業は行いませんでした。

【4】附属明細書

2021年度の事業報告書については、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定される「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書は作成していません。